



# 即行動!! 現場主義

神奈川県議会議員

# 芥川かおる



神奈川県議会議員  
芥川かおる

— 県政レポート — 令和4年8月 第29号

## 令和4年 第2回定例会

### 暴力には決して屈しない



去る7月8日、安倍晋三元総理が奈良市内で参院選の街頭演説中、凶弾に倒れました。民主主義の根幹である選挙中の卑劣な蛮行は断じて許すことはできません。神奈川県議会では、言論及び政治活動の自由を守り、暴力には決して屈しないという決意を表明し決議が可決されました。ここに改めて衷心より哀悼の誠を捧げます。

こうしたウクライナ情勢の不安定化等に伴う、原油や穀物などの価格高騰は、県民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしており、長引くコロナ禍で疲弊した社会経済活動に追い打ちをかけています。国は緊急対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、地方自治体にこれを財源に生活困窮者対策や事業者への支援を実施することとされています。

県はこの交付金を活用し、今定例会に提案された補正予算251億6700余万円が可決されました。

## 本会議 一般質問で登壇

# 小田急線との立体箇所 県施工へ強く要望

### 都市計画道路 座間南林間線について

#### 質問

座間市では、各所で渋滞が発生し、市民生活や企業活動に影響を及ぼしている。今後、地域が健全に発展していくためには、貴重な幹線道路である都市計画道路座間南林間線の整備が不可欠である。

現在、座間市役所北交差点から座間市下宿交差点までの約1.6キロメートル区間が未整備となっており、この区間が整備されれば、地域の渋滞緩和が図られるだけでなく、小田急線の踏切が立体交差化され、安全性や快適性が大きく向上する。そこで、都市計画道路座間南林間線の県整備区間における、現在の取組状況と今後の取組について見解を伺いたい。

は、昨年11月、県と座間市が連携して、小田急線の踏切の立体交差化や歩道幅の現行基準への変更など、整備に向けた都市計画の変更手続を終えました。

県整備区間の現在の取組状況ですが、都市計画変更後、県は、用地の取得に向けた測量に着手し、今年2月からは、土地所有者の方々と現地での地境界を確認する作業を進めています。

今後、この作業が順調に進めば、今年度内に土地や建物の所有者の方々を対象にした、用地の取得や建物の補償に関する説明会を開催します。また、

未整備区間の1.6キロメートルの中で一番の重要箇所が、小田急線との立体箇所のアンダーパスであります。

県施工部の県道51号町田厚木との一連の工事となると思えますので、技術面からもアンダーパスまでを県施工としていただくことを強く要望申し上げます。



座間南林間線の現況 (令和4年7月撮影)

# 米軍基地との

## 連携について

―質疑―

ロシアのウクライナ侵攻や中国の軍備増強など、国際情勢が緊迫し、日米同盟の強化が求められる。そこで、国際情勢が緊迫し、基地負担軽減に向けた本県の活動の真価が問われる中で、今後、米軍基地との連携をどのように進めていくのか、見解を伺いたい。

―知事答弁―

ロシアによるウクライナ侵攻など、国際情勢が緊迫する中、日米安全保障体制の重要性は、かつてないほど高まっています。

一方で、都市部の人口密集地域に多くの基地が存在する本県においては、基地の存在が街づくりの障害になるなど、周辺地域への影響も大きく、基地負担の軽減のための継続的な取組が必要です。これまで「ビッグレスキューかながわ」では米軍の医療チームも参加する医療救護訓練を実施するなど、県民の皆様の安全・安心につながる実践的な取組により連携を深めてきました。

練を実施するなど、県民の皆様の安全・安心につながる実践的な取組により連携を深めてきました。

今後は「ビッグレスキューかながわ」への米軍の参加を改めて求めるとともに、地元市が行っている基地との交流事業を県としても広報で支援するなど、新たな取組も検討していきます。

今後も、様々な取組を通じて、基地との連携の充実・強化を図り、基地負担の軽減につなげてまいります。



米軍ボランティアも参加した花壇の植栽事業

# さがみグリーンライン

## 自転車道の整備について

―質疑―

座間市と厚木市にまたがる座架依橋付近を起点とし、平塚市に向けて、相模川沿いに計画された、さがみグリーンライン自転車道の整備に取り組んでいる。沿線には、運動公園などがあり、これらの施設を相互に連絡することは、多様な健康づくりの場を創出し、人生100歳時代に繋がる取組みであり、整備が進めば、自動車から自転車利用への転換が図られ、脱炭素社会の実現にもつながることから、相模川地域のさらなる魅力アップのため、早期の整備に大きな期待を寄せている。

そこで、現在の取組状況と、今後の取組について、見解を伺いたい。

―答弁―

さがみグリーンライン自転車道は、厚木市から平塚市までの相模川の堤防を利用し、広大な風景の中で、サイクリングなどを楽しんでいただけのように計画した自転車道です。

現在、県は、圏央道と並行し、海老名市から寒川町



さがみグリーンライン工事箇所

に至る約10キロメートルを先行整備区間とし、令和7年度までの完成を目指して事業を進めており、これまでに、およそ半分の約4.9キロメートルが完成しています。

一方、未完成の約5.1キロメートルでは、国の堤防工事が完了していない箇所があることや、交通量の多い道路や、河川敷へつながる道と交差することから、安全性や利便性を確保しながら、どのように自転車道を整備するのか、といった課題があります。

こうした中、寒川町域の約1.2キロメートル区間の自転車道の整備にあたっては、町や地元との間で3本の町道の付け替えを同時に行うための調整を重ね、合意に至ったことから、現在、今年度中の完成を目指し、工事を進めています。

今後、残る区間については、堤防工事完了後に、直ちに自転車道が

# 若者の

## 創業支援について

―質疑―

県の年齢別人口統計調査によれば、いわゆる「働く世代」と言われている15歳から64歳までの生産年齢人口については、平成30年、令和元年と2年連続で増加が見られたものの、全体としては、減少傾向が続いている。

このままでは、経済の縮小、医療・介護需要の急増、地域コミュニティの衰退などにより、これまでの社会システムでは立ちいかなくなるおそれがある。

こうした状況の打開策の一つとして、意欲ある若者の創業を促進し、県経済の活性化につなげていくべきと考え、見解を伺いたい。

―産業労働局長答弁―

意欲ある若者が創業し、県内地域を拠点に成長していくことは、県経済の活性化のために大変重要で

整備できるよう、国と調整を進めるとともに、交差する道路について、課題を関係者間で共有し、解決に向けた検討や調整を精力的に行い、合意が得られた箇所から、速やかに工事に着手していきます。

こうした取組により、県は、安全で快適に利用でき、未病改善にもつながる、さがみグリーンライン自転車道の整備をしっかりと進めてまいります。



さがみグリーンライン共用箇所

す。県では、県内で創業予定又は創業して5年以内の方に対して、低利の創業支援融資を実施しており、創業前の事業立案段階から商工会等の指導・助言を受けている方などには、さらに低利で信用保証料負担がゼロとなる「創業特例」を実施しています。

また、公益財団法人神奈川県産業振興センター（KIP）（きっぷ）を通じて、市町村が開催する創業支援セミナーに講師を派遣するとともに、セミナー受講者に対して「後継者バンク」への登録を促し、後継者不在の中小企業が持つ経営資源やノウハウを引き継ぎながら創業できるように、マッチングも行っています。

このようにして、意欲ある若者の県内地域での創業を支援することで、県経済の活性化につなげてまいります。

# 河川の豪雨災害に備えた

## 演習の実施について

―質疑―

近年、全国各地で気候変動の影響により、毎年のように河川の豪雨災害が発生しており、本県でも令和元年東日本台風では多くの被害が発生し、城山ダムにおいて緊急放流が行われた。

このような大きな出水に備えるには、ハード対策のほか、ダムの放流状況や水位情報を関係行政機関に迅速に伝達するなど、ソフト対策にも取り組んでいくことが重要と考える。そこで、近年の激甚化・頻発化する河川の豪雨災害に備えて、今後どのように、水防演習と洪水対応演習を行っていくのか、見解を伺いたい。

―知事答弁―

河川の豪雨災害から、県民のいのちを確実に守るためには、住民避難の最前線に立つ市町村と連携して、緊急時に備えておくことが大変重要です。県は、地域の消防団等が、水防活動を迅速かつ円滑に行えるよう、定期的に水防演習を実施しています。

また、これとは別に、河川の水位やダムの放流情報を、県から市町



令和元年東日本台風によるダム緊急放流

に迅速かつ確実に伝達できるよう、毎年、洪水対応演習も行っています。そこで、水防演習については、引き続き、消防団等による伝統的な水防工法は活かしつつ、例えば、危険な河川敷に残っている人を、ドローンが自動検知し、避難を呼びかけるといった、現在、民間企業が実証実験中の新技術についても、導入の可能性を検討します。県は、引き続き、市町村と連携して、演習を行い、豪雨の際に対応できる実効性ある体制を構築して、県民の安全安心を確保してまいります。



杭打ち積み土のう工

発行 芥川かおる事務所

オフィシャルサイト 絆  
<https://akutagawakaoru-kizuna.jp/>

〒252-0021 神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-35 (2F)

TEL 046-244-0281  
FAX 046-244-0481

みなさんの「声」を聞かせてください!

